

地域精神保健福祉教室「こころの健康講演会」とは

沖縄県では県民142万人のうち、4万3千8百人が精神科や心療内科に通院や入院しています。つまり、32人に1人がこころの病で治療を受けている計算になります。これほどポピュラーな病気ですが、詳しく知られていません。

那覇市では、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指し、市民に精神保健福祉について正しい知識をもってもらうことを目的に「こころの健康講演会」を毎年開催しています。

講演会「ひとりひとりの人—僕が撮った精神科病棟—」

大西 暢夫氏（おおにし のぶお） 写真家・映画監督

1968年生まれ。岐阜県揖斐郡（いびぐん）池田町在住。
東京総合写真専門学校卒業後、写真家／映画監督の本橋成一氏に師事し、1998年にフリーカメラマンとして独立。
主な活動として、月刊誌『精神科看護』のグラビアで全国の精神科病棟取材し、等身大の人々の姿に向き合っています。ダムに沈んでいく村々の撮影や、2011年4月からは東日本大震災の現場に通い続けています。



主な著書

『ひとりひとりの人』（精神看護出版）、『僕の村の宝物』（情報センター出版局）『山里にダムがくる』（共著：山と溪谷社）、『ここで土になる』（アリス館）『ぶたにく』（幻冬舎エデュケーション）他多数。

映画監督作品

『水になった村』2007年制作（配給：ポレポレタイムス社）、『家族の軌跡 3.11の記憶から』2016年制作（配給：大西暢夫 & 小野応急仮設住宅）、『オキナワへいこう』2018年制作（配給：NPO法人：kokoima）。

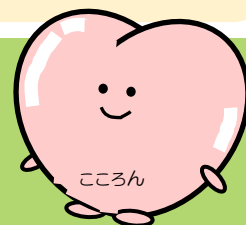
予告編を上映します

座談会「街で暮らす—当事者と家族の日常—」

那覇市地域生活支援センターなんくるを利用している当事者やご家族から、ふだんの「日々」についてお話していただきます。特別なことをして過ごしているのでしょうか。こころの病を抱える人は特別な存在なのでしょうか。参加者の皆さんがご自身の生活を振り返りながら、感じて、考える時間にしていただきたいと思います。

また、那覇市地域生活支援センターなんくるについても、知っていただけるよう情報提供致します。

問合せ・申込先 那覇市地域生活支援センターなんくる
那覇市長田1丁目24番27号
TEL: 098-836-6971



「街で暮らす

—こころの病について考える—」

日時：平成30年 **10** 月 **20** 日(土)

13時30分～16時30分

会場：那覇市保健所（那覇市与儀1-3-21）

那覇市では、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指し、精神保健福祉について正しい知識をもってもらうことを目的として講演会を開催しています。

全国の精神科病棟取材する写真家の大西暢夫氏の講演と当事者の方々のお話に耳を傾けてみませんか。お気軽にご参加下さい。

募集人数

50名

募集対象

那覇市在住、在勤、在学の方

講演内容

- ① 13時30分～15時00分
講演会「ひとりひとりの人—僕が撮った精神科病棟—」
講師 大西暢夫 氏（写真家・映画監督）
- ② 15時15分～16時30分
座談会「街で暮らす—当事者と家族の日常—」
当事者および家族の方からのお話
に耳を傾けてみませんか。

応募方法

電話・来所にてお申し込み下さい。

申込締切

平成30年10月19日（金）

問合せ・申込先 那覇市地域生活支援センターなんくる
那覇市長田1丁目24番27号
TEL: 098-836-6971

